

遠見塚古墳



白線で囲んだ部分が遠見塚古墳

県道高森線、下寺中公民館から北方へ入り、「益城三十三ヶ所めぐり」の第14番札所「下寺中地藏堂」の前を通って、山道を登った丘陵地に、字遠見塚というところがあります。標高65m、水田面から約45mの高さに「遠見塚古墳」があり、地元の古老の話では「ツツカサン」と呼んで親しまれていたそうです。

現況の墳丘規模および形状は、東西8.5m、南北10m、高さ0.9mの隅丸方形に近く、部分的に石垣を積んであります。古墳の周辺には、凝灰岩の大きな石材があり、弥生時代の磨製石鏃も採取されています。発掘調査が実施されていないため、造営時の墳丘規模や被葬者、副葬品等の詳細は不明ですが、『益城町史』によると、「元は直径20m程で、高さ3m以上あった円墳ではないか」また、「古墳時代後期(6世紀後半～7世紀前半頃)にこの一帯で勢力を誇った豪族の墓とみることができる」と推定されています。

昔は墳丘上に大きな古松がうっそうと繁っていましたが、戦時中に切られ、現在は楠の大木が枝を一杯に広げ、塚を守るように立っています。周辺は耕地整備されていますが、古墳が所在する土地の所有者が、「遠見塚古墳」はそのまま残しておられます。

かつて、益城町内には多くの古墳が存在していました。しかし、大規模な開発や圃場整備事業により、そのほとんどは発掘調査が実施されないまま消滅しています。

益城台地上やその縁辺部に現存する古墳としては、「葉山古墳」(広崎)、「馬水狐塚古墳」(馬水)、「城の本1号墳・2号墳」(寺迫)があります。

参考文献:『益城町史(通史編)』益城町史編纂委員会編



BABY

わが家の天使 こんにちは赤ちゃん



うと えま ちゃん
(下 陳)

7月2日で1歳になりました！元気いっぱい♪
お姉ちゃん、お兄ちゃん、
仲良くしてはいよ～!!

パパ 裕樹さん ママ 美保さん



いしが みらい ちゃん
(田 原)

こはくお姉ちゃんに負けな
い大きな声を出す私♡
これからも仲良く遊んでね
♡

パパ 幸司さん ママ 良子さん

MAIL

ご意見・ご感想 紹介コーナー

✉ 6月28日午前7時頃、娘が軽自動車で町民グラウンド近くの秋津川沿いの土手下に誤って落ちてしまいました。様子を見ていた人たちがすぐに集まって、タイヤの下にワラや板を敷いたりして、車を押してもらい助けていただきました。この欄をお借りし、県外在住の娘に代わりまして、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。(文要約) P.N 娘の母

✉ この時期は毎年庭にきゅうりがなります。今年は枝豆も植えてみました。ちぎってすぐの新鮮な野菜はとてもおいしいです。 P.N きなこもち

✉ 「広報ましき」の表紙の「あじさい」しっとりとして、いい感じですね。飯田山に上らないとみられないですね。来年のあじさいの頃に行ってみたいです。楽しみにして、健康づくりをして行きます。

P.N お花大好き